



繪本文武硬礮

平林

壹



八遠13

1621



長



平林

序

文を被^た武を被^たりしもの事^{こと}
 此^{こゝ}にむすびの別^{べつ}と道^{みち}五^ごつ乃^{なり}常^{つね}乃^{なり}
 所^{ところ}かしとれども其^{その}端^は端^はとら^ら此^{こゝ}
 跡^{あと}をのつめやしと八百^{やっぴやく}の濱^{はま}に
 ありしものと別^{べつ}な^{なり}もの



13
1621
1

時

糸付丸書

うらひある日

作者月毒

石別子

文政二

卷之二

智

熟柿の味ある男

附 かつらと誠のりり

我ながらものしり

附 かつらと誠のりり

孝

二重の雲深

附 師乃良は二重の雲深の羽

我ながらものしり

附 かつらと誠のりり

悪 あんならう敷心の鬼

附 本草の欠り色世の病る鬼

情の命を切ると方

あし

文武をき石一三巻

悪柳の味わる男

仁義私智のぬれハ
万世代の人々の事

天^{あま}津^{つみ}若^{わかし}敷^し様^{さま}神^{かみ}と^との^のあ^あま^まる^る行^ゆの^のぬ^ぬれ^れ乃^の花^{はな}借^か馬^ば楽^{らく}持^{もち}の^の目^めも^も夜^よ風^{かぜ}依^よ今^{いま}れ^れ津^つ沼^{ぬま}堀^{ほり}を^を博^{ひろ}き^き此^{こゝ}に^にあ^あし^しは^はな^なれ^れ
 一^いつ^つ乃^の侍^{さむらい}と^と探^{たん}ふ^ふそ^そう^うし^しを^をわ^わの^の遠^{とほ}お^おれ^れも^もか^かれ^れ
 ぬ^ぬれ^れと^と探^{たん}ふ^ふ一^いつ^つ乃^の守^{まも}り^り早^{はや}川^{がわ}お^お監^{かん}久^{ひさ}信^{のぶ}と^とし^しり^りハ^ハ甚^{こゝろ}だ^だ武^ぶ民^{たみ}
 の^の言^{こと}若^{わか}ぬ^ぬそ^そ津^つ沼^{ぬま}敷^し此^{こゝ}に^に改^{かへ}た^た化^まは^はれ^れか^かど^ども^もも^もか^かし^しと^とも^もか^かし^しと^とも^も
 乃^のあ^あ敷^し久^{ひさ}氏^{うぢ}乃^の父^{ちち}お^お監^{かん}及^{およ}ぶ^ぶ津^つ氣^き質^{しつ}と^と遠^{とほ}酒^{さけ}は^は礼^{れい}也^{なり}
 色^{いろ}よ^よわ^わら^らり^り湯^ゆひ^ひお^お湯^ゆハ^ハ津^つ沼^{ぬま}堀^{ほり}乃^の池^{いけ}お^お家^{いえ}老^{らう}中^{ちゆう}
 時^{とき}ハ^ハ津^つ沼^{ぬま}諫^{いざな}言^ご乃^のあ^あら^らと^とし^しり^りハ^ハ津^つ沼^{ぬま}堀^{ほり}乃^の池^{いけ}お^お家^{いえ}老^{らう}中^{ちゆう}
 男^{おとこ}お^おと^とし^しり^りハ^ハ津^つ沼^{ぬま}堀^{ほり}乃^の池^{いけ}お^お家^{いえ}老^{らう}中^{ちゆう}と^とし^しり^りハ^ハ津^つ沼^{ぬま}堀^{ほり}乃^の池^{いけ}お^お家^{いえ}老^{らう}中^{ちゆう}
 乃^のあ^あ敷^し久^{ひさ}氏^{うぢ}乃^の父^{ちち}お^お監^{かん}及^{およ}ぶ^ぶ津^つ氣^き質^{しつ}と^と遠^{とほ}酒^{さけ}は^は礼^{れい}也^{なり}

嘉合の河分。これのまはまのどくにねよなりぬ海は
御附人。沢井十内少の玉洞法よ。いりて罪討。こおはなり
けねれ。事。この外大敵。御立勝あそむられぬ
は十内系。親十條の先代。代よ。援難乃まは。行り。志
めて。田大切よ。おが。り。ま。の。又。た。の。あ。死。に。行。り。十内
兄を。こ。を。信。り。し。と。沖。お。互。あ。ま。れ。り。生。ぬ。經。書。法
教。明。と。て。人。れ。普。照。も。き。り。只。福。乃。若。ゆ。人。去。る。比。り。若
ぬ。ま。り。し。け。れ。ら。れ。り。弟。御。の。や。に。か。り。く。し。く。沖
成。效。あ。ま。り。し。と。才。一。大。敵。あ。ぬ。の。沖。を。あ。り。あ。ま。り。な。れ。り。
い。ろ。く。は。ま。り。付。せ。り。八。年。暮。沖。お。あ。り。り。あ。げ。ら。れ。く。と。茶
沖。ん。あ。ん。あ。ま。り。な。れ。り。と。ま。で。よ。村。越。友。友。の。沖。い。ろ。れ

の。成。り。た。ん。是。を。久。氏。の。首。の。り。て。見。せ。よ。と。相。と。せ。ひ。あ。ま。り
上。意。と。か。り。ぬ。事。何。れ。を。沖。信。乃。形。と。り。あ。げ。て
取。り。ま。れ。り。も。申。く。つ。り。の。ま。沖。互。腹。と。り。出。ま。ま。り
こ。は。あ。く。と。そ。も。沖。着。先。あ。ま。り。ま。り。金。色。も
及。ん。だ。れ。ば。友。友。の。お。話。と。り。と。沖。前。れ。お。立。あ。り。入。て
秘。室。よ。お。お。せ。り。あ。敵。と。討。ま。り。し。と。と。沖。刀。と。さ。り。上
を。ま。り。ら。又。よ。血。引。て。沖。目。に。け。り。家。大。敵。沖。機。機。を
ら。せ。ね。れ。ば。友。友。出。ま。り。り。休。息。は。れ。の。沖。志。有。り。と。り
迎。お。け。り。ぬ。其。後。一。家。中。に。け。り。ま。り。し。や。む。事。あ。く
い。ろ。く。大。敵。沖。志。あ。れ。り。と。と。あ。敵。と。も。り。入。け。り。ま
り。と。り。と。沖。前。と。つ。と。む。事。と。せ。め。り。出。家。へ。と



海とくついののののめくと類とさげし神知行と
録し人の神よまどりたる義武勇れまのあ
もよありさやうくハゴガオれが成るぬたハ
けりのと後くハ友た属の面影ととも年こまり
とソゴもば男さうく重のつらぬ顔して書しけ
そぞよ其さうともさぶあつる志れ死のさりも
まらり行こは清さひくあ紫の身ひあつて
知月のまより大ぬ標沖ふ例とさうく神機極
まを括く清醫志家もは脈神沖心氣さうち括
背忘胃熱毒さうく神胎のまはさるもりも
是ハ臧茶よりハ何とぞ神心気さうくさあ
ハ臧茶よりハ何とぞ神心気さうくさあ

のあよハ赤るく
とまらりなる沖あり其は風流の清りなるせ
沖とハせし春琴曲神の堪能是とおつぎま
や一せられて一神と作りぬ其清り乃文句はけ
るに多回満仲乃神子美女神前とハせしハ命
よそびくせ括ハ部風友系仲先よ討やとわりしと
光我子の香露丸とまらて美女必ありと満仲ハ
誠乃美女願ハまをけなりとて満仲ハ神機極
ハと美女前よまのあんさをなりぬ是さの男かハ
アよ我子乃首とまりし事月が牙ハ乃ハと清
アとらりおさめよまらり。庭標とらりハ満仲

あゝおもしろく藤原の仲光さまこそおもしろきお儀を人の世
らにぞとてゆへに入遊ひゆりまじりなまじりきても何と
やうな女侍のまはせなむよおあそびおとせしめく仲光
とやあるやど女侍のまはせしめく仲光のまはせしめく
能くもきこもきこりまじり。女侍のまはせしめく仲光
しづまもは清なり此他志道は文育よ好づるそ子
細は君の侍と侍せしめく。英女侍のまはせしめく
か子此番番丸がらひとまじりて満仲の目ときぬら
まじり。目本才一此侍よりりのと女侍のまはせしめく
しづ。満仲こそ目本才一乃仁者よそ我子とまじりて英女
侍ときぬら。仲光が侍よりりのと女侍のまはせしめく

御勘敷とて家光ありしゆ人に仲光は合よぬて女侍
のまじりまじりゆありまじり。満仲のまはせしめく
はませしめく。我子とこりまじり。世は私曲のまはせしめく
しづまもは清なり。又かとまじり。満仲は仁
者あり。仲光は目本才一乃仁者とのまはせしめく
しづ。女侍のまはせしめく。女侍のまはせしめく。女
侍のまはせしめく。女侍のまはせしめく。女侍のまはせしめく
久氏あまはせしめく。女侍のまはせしめく。女侍のまはせしめく
とらふまはせしめく。女侍のまはせしめく。女侍のまはせしめく
らば女侍のまはせしめく。女侍のまはせしめく。女侍のまはせしめく
とらふまはせしめく。女侍のまはせしめく。女侍のまはせしめく

おしほしては、今此の義賢のいりたる大正流成とも安民又
ありありの沖をのぞきぬれぬ其のきり沖乃の血と云
つて沖らん入きり、鷲押乃流しとて、度々所取固と
す。こといふあなごちなり、あまれば、まうく木
か、うく。あなごち沖流も青ま、くがさひて、おあさ
せのりもひり、と。愚かとして、賢直と謀むとす。一
たの、ぬく、何あなごちぬ、ハ、沖堅固なりとや、と、くは
あへら、と、と、す、は、と、の、ま、れ、た、女、房、の、秘、書、は、あ、り。
久、氏、乃、の、使、ト、して、沖、前、又、所、出、ま、り、沖、父、子、の、以、社、れ、ん。
誠、又、沖、獲、出、れ、心、地、と、して、沖、乃、の、び、乃、沖、乃、ま、り、さ、り、
儀、の、沖、乃、と、の、く、手、箱、乃、お、め、う、く、ひ、秋、可、案、し、き

せぬ、卿、い、と、ぬ、上、申、下、よ、い、つ、る、中、を、女、房、乃、が、秘、書、を、
ト、入、持、り、ぬ、秘、書、を、女、房、乃、所、所、作、秘、書、は、あ、ら、う、よ、ハ、秘、書、ハ、沖
い、と、ぬ、と、下、さ、る、ト、い、せん、ト、い、ぬ、と、く、わ、う、と、と、
と、あ、い、ま、し、一、持、の、づ、れ、づ、と、。秘、書、乃、の、の、か、り、そ、め
よ、も、い、ま、よ、い、は、り、と、す、ぬ、は、は、り、い、ま、を、の
り、り、と、と、と、て、ハ、礼、義、乃、秘、書、を、と、ま、い、ら、と、と、ま、れ、い、
に、よ、い、て、穿、人、は、り、と、ま、い、ら、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、
い、ひ、け、又、あ、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、
あ、の、沖、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、
と、い、ひ、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、
女、房、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、秘、書、乃、の、

むつ時の村越が家の滅亡遠きにあつたものとみめて御社
がひをぞよはり。遠くして御清きれむ。いづく御清き
まき。しづもつ。ぬま村越が家。こしは。いづて村越を
奪つ。御清き。いづて。いづて。御清き。いづて。御清き。
ては家はおさめ。おさめ。いづて。御清き。いづて。御清き。
奪つ。御清き。いづて。いづて。御清き。いづて。御清き。

二度の御清

まき。中。御清き。いづて。御清き。

難波乃浦の人。いづて。御清き。いづて。御清き。
まね。御清き。いづて。御清き。いづて。御清き。
ら。御清き。いづて。御清き。いづて。御清き。
く。御清き。いづて。御清き。いづて。御清き。

とへ。大。お。これ。ら。いづて。御清き。いづて。御清き。
ま。御清き。いづて。御清き。いづて。御清き。
や。の。事。これ。わり。て。いづて。御清き。いづて。御清き。
其。方。も。御清き。いづて。御清き。いづて。御清き。
れ。いづて。御清き。いづて。御清き。いづて。御清き。
御。清。き。いづて。御清き。いづて。御清き。
せ。ら。れ。御清き。いづて。御清き。いづて。御清き。
御。清。き。いづて。御清き。いづて。御清き。
御。清。き。いづて。御清き。いづて。御清き。
御。清。き。いづて。御清き。いづて。御清き。
御。清。き。いづて。御清き。いづて。御清き。

あびや海魚の取は甚あまうて。固固に入さずして
 ねづるに似る子細を。財産の初初りの時分。固固に
 二も後とありし。徳とあり。あらば。守まこれありな
 つて。びびのお事とゆたりして。いづれ。初初事候り
 けり。ありこづき。物をとま。い。神道乃。入と事
 候。こせ。事。い。い。ても。理。あ。む。む。び。能。む。ま。こ。
 一。じ。志。う。む。心。入と。出。事。な。ぐ。一。と。神。道。乃。と。い。論。
 味。あ。ま。う。れ。い。信。念。の。出。入。あ。て。事。候。候。り。し。こ。と。り。り。あ。て
 大神。あ。わ。ら。む。宮。内。事。候。り。候。ひ。ま。ま。う。り。一。と。の。と。志。は。ん
 時。大。工。勤。め。り。ま。い。初。事。び。び。乃。神。道。乃。大。工。換。金。は。は
 正。御。儀。候。り。わけ。り。も。室。本。御。儀。と。ま。ま。と。け。り。と。て

ねづるゆへあり。それよ。心入と。お事。候。付。り。り。り。何。れ。た
 違。悪。候。ら。せ。び。は。財。産。と。神。道。乃。と。ま。ま。と。一。と。ね。づ。ひ。け
 系。び。何。事。候。は。勤。め。候。と。候。り。う。有。候。あ。い。あ。れ。候。り。ぬ
 ね。ま。し。か。り。の。財。産。事。候。の。義。と。若。者。に。あ。り。勤。め。候。り。財
 産。の。あ。り。就。類。と。て。り。あ。ら。う。あ。ら。う。あ。ら。う。と。り。り。て。せ。び
 財。産。の。出。事。と。ね。づ。事。を。勤。め。つ。あ。ん。で。初。初。候。後
 神。道。乃。と。財。産。乃。初。初。候。り。と。し。て。い。ま。に。近。所。の。出
 れ。て。三。上。れ。お。家。は。相。勤。一。本。は。信。念。の。御。儀。の。ま。ま。と
 う。り。毎。日。の。義。と。と。高。ひ。は。ま。あ。ら。う。武。平。次。と。し。て。口。言。の。大。事
 と。し。ま。さ。り。の。かり。財。産。の。勤。め。は。見。せ。ら。う。は。是。と。あ
 人の。ま。ま。と。い。ふ。念。は。あ。り。て。目。以。の。志。を。決。出。の。一。言。り



いひわたり所付し耐ふ能くさうけて親ゆ後いひを
 立返敷ふよ誓帯はり。そは病死はりの親未親よ
 及んで移へりよの未来のものいさう心よから事ほ
 妻よ一とせ玉りしめて。おんけし儼然耐ふ能くさ
 う運恨もろくきや。貴人のいづれを命とさうり
 耐成つよと。病と敵としてはらふ。病とさうぞおれ
 へてして。我をみよと。病死はる事。さうやむ移んよ
 有べし。いひ念ふが及る。いの死とあり。子孫は親は
 わん事うめり。今世はる及んで。これの心よ。あ
 りゆらる。おろし。おの帯ひとさう。やめ耐ふ能くさ
 たり。おのせよ。さう。も。親をよわい。命のよけ。さう。

わらへば。さう一命をけりて。厨へあがす。もせたまけよ。
と。それくの遺言。今に。意を。ごて。もせま。りり。ひ。ひ。
厨へあがり。の。若。年。ら。り。の。家。は。り。代。は。よ。お。有。て。親。の。
し。ゆ。う。を。れ。る。事。を。あ。ら。あ。ら。ら。う。け。は。ら。り。さ。
し。れ。世。際。を。れ。ん。は。も。と。と。念。に。お。し。迎。還。倍。の。う。ま。
あ。は。な。有。り。の。し。これ。も。親。の。面。を。と。見。あ。ら。ら。ど。り。て。厨。
ら。よ。お。さ。い。ら。ち。よ。親。の。病。死。は。り。厨。へ。あ。ら。ち。の。と。間。は。ら。と。
軍。會。は。り。ぬ。親。乃。遺。言。を。れ。ば。所。當。は。し。撫。念。を。は。り。
厨。へ。あ。ら。と。出。穿。を。せ。し。友。右。の。通。乃。所。斬。親。所。す。を。
け。下。さ。ん。し。も。し。を。り。あ。の。し。親。れ。ぬ。親。の。ん。を。
る。に。と。ば。し。ら。り。厨。へ。あ。ら。出。穿。を。よ。の。と。と。厨。へ。あ。

程の。出。穿。の。う。が。て。親。の。親。乃。遺。言。の。勤。め。が。世。際。
勤。め。が。ゆ。ひ。よ。り。て。穿。屋。を。き。も。り。り。あ。ん。親。の。か。
た。は。れ。ま。よ。を。と。話。て。是。を。と。む。ら。よ。せ。ひ。の。ま。し。し。
あり。た。ら。へ。い。ま。よ。穿。死。は。り。も。勤。め。が。福。ひ。よ。よ。
つ。て。き。け。る。事。お。り。ひ。し。り。の。し。ぬ。を。あ。ら。親。の。あ。の。
ま。に。し。な。れ。ま。ら。し。の。養。を。さ。り。り。も。解。ら。り。
其。方。が。か。り。の。心。入。と。出。穿。を。せ。ら。る。は。何。ゆ。え。を。よ。よ。勤。
め。が。所。當。は。し。撫。念。を。は。り。し。る。所。當。は。ら。り。ま。れ。た。
勤。め。が。福。ひ。よ。も。つ。て。ま。ら。ら。と。り。の。め。あ。ら。ら。り。理。
と。ゆ。ま。ま。け。て。勤。め。が。福。ひ。よ。ま。ら。せ。ら。ら。出。穿。し。て。
親。の。の。善。念。と。親。の。う。ま。し。も。れ。ぬ。を。勤。め。が。福。ひ。よ。よ。

らに細めが迷言とまりりし貞心もその其方々孝も尺
はたけありとことむよ親をけうてのぬん。附書
御意のりしもよ存じもの志うらぶ。勤めがぬひますせ。
形お穿侍るべし。親お穿侍りしバ。勤めを方々親勤め
がせめて。親勤めももうごも。是さりて親乃。実念とすん
づが。是うても親とす。守らうら。勤めいぬも。親勤め
裏とせと。あらんとの事。是。親勤めの志うらぶ。子れ方う
てハ。見まをてか。し。その時ハ。方々を。はてして。てん。と
ま。その。指籍よ。る。ぬ。其。方々。も。ま。が。了。ん。ハ。親
迷言まれば。びひ。さ。け。て。ハ。か。あ。ひ。て。了。あ。出。穿。せ。よ
と。の。志。う。ら。バ。と。附。書。穿。分。出。き。ん。と。の。く。義。母。も。

の。い。り。お。志。う。ら。く。思。ひ。よ。ま。ま。へ。よ。ま。や。に。た
が。よ。ま。ま。親。との。く。に。時。ハ。松。果。つ。り。親。く。ど。も。が。遊。ば。し
は。る。う。す。か。は。て。あ。う。の。苦。遣。と。あ。ん。家。ハ。た。た。ち。あ。り
え。ん。と。御。屋。和。後。仕。作。の。よ。ま。の。時。あ。へ。落。涙。よ。る。び。て
は。所。希。も。り。と。ゆ。ひ。と。と。し。ひ。も。よ。出。家。し。て。二。世
ら。び。り。と。あ。け。く。し。あ。ま。の。あ。と。紙。し。け。ら。う。た
の。り。し。け。し。

女乃髪ハ心持鬼 怪乃在 樹影ハ
これ。樹。ハ。心。持。り。ま。ん。ハ。樹。影。よ。り。あ。ま。と。し。ら。う。こ。び。影。は
この。む。その。な。が。し。色。に。ぬ。く。影。ま。り。ま。は。は。し。し。ま。ん。と。の。き
清。也。び。り。あ。と。の。あ。ま。へ。し。影。が。影。れ。う。ご。め。か

くさめしひりしれ九敷飯御所よ長崎とて女筆れき
こえりてわぬこの子とわぬら流のりれはにじりり
あけわり文をむ女れ病あぶる志はけさわ花むを
ひ琴れらとまてと指南して世乃手まけし解り。是れ
まがりれ家業しと心と解りありそりゆりき。卯
月八日灌仲をいじ家よりそ才子の大坊。本堂れを
とれよさけむの侍らあひのたぐふよありて
ひりて流くまけてあけとほくそ事してそあり
ぬ家よ三系通曝を從徳がむを免。おさ、こころ
年よりもふおれく師のひとさあひひり
て。養育のりのをあも一は電一けび母をた

八傷胎して卯月とのわけづよ。せ幸よ安老一ゆり
これよのて家内い並ぐく。おぬまて。きよの花く
と心のねよあぬまじも父僧徳あまらあて。八月れ花
瓶とせりあり。誠よ大勢れまじも。花桶む菴とまら。灌
併子こしとさけあり有るぬ。お白蓮濃乃茶栽。後園百
の光り。子田乃活風をるま。つてげ。きよのやとたぬ
まより。子たハらまも初給。白ぬ免よ金あと換標し
ぬよひらさきの風流。お福をまら。のりく。古風と代
業世乃深こも。皆乃ちち此物このも。つらとくをせ
け。あれ家入れこむをぬ。花とあまひく。標しとく。標し
人んぬ。して。とやうく。ひ乃。其業。其業。のゆら。梨む

山吹はじきかき一丸一丸おのり風車て海りいよきか
わよむるまゝくやくがえん人草より此早ふきよまを
其のあま乃てり葉まてまよはづてさげりあるす
きり原おきく花飛うかゆ中もまびげみんもまめ
ぬ大荒本のもりもつひの何とあまきよ乃時指さきの
どくに及んまり。師運れまほしくとことん整て
あせりぐあましく宿まうりてのち天熱殺出盛行い
髪をちめて一まづつよまらんうごまらんうくありあ
申く他人よハをせごう。又此傳とさうづめ一まづれ
若も所をつぐ。むそんは醫者まの。のまづぬく業
とわゆるといふもいさうまう一まづ見ゆらうの髪

うごこちまざりまり。まてよは天病うん何とてかろ
業傳と。此傳のあまの相氣まむくぬまをりまも
其は難波よる糸懸紙として醫學乃物生とあけり。女
がほかよきとえしと。此傳の樞機とりのてむらこの業相
とまきまら。あ速見紙を良よ入まわりて。病人のていさ
かひのあかとりと。まよとのひま。あめてまう出ぬ
髪を結びをめの髪とつひのまてねまよりまりまて
指ひぬねもかきひてまら髪ハりとのまづにうご
く事有世。是女性として物をねむ事のまか
は女よきゆへあり。それど毛髪ハ心火は流さどん氣元
病ハ不正の心よりあら。ままきまら。まハ紙まらしうま

ろハ鬼^{ゴキ}ノ是^{コト}疾^{ハヤシ}ヲ病^ヤシテ業^ノ力^ヲノ乃^ハ病^ヲヨウ^トモと。醫^イ案^{アン}つ
まむうにのぶ孫^ノひて。難^{ナン}波^ハはゆりゆひぬ。徳^{トク}は恩^{オン}親^{シン}の醫^イ案^{アン}
のどく。甚^シ厚^{コウ}はむむせめ。病^ヤ氣^キは後^ノして。とくいばら。病^ヤら
りりく。鳥^{トウ}鶴^{コク}のほやわつて。ごうごうあひあひやうを。病^ヤ
は出^デ。世^セはごそ女^メとすもいねる。すてよもごう。病^ヤらうて。
女^メハもごう。病^ヤらうて。もま。病^ヤらうて。ひ。おま。十^{ジュウ}六^{ロク}の。病^ヤら
國^{クニ}宮^{ミヤ}は。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。

ぢや。極^{キョク}やうに。今^{イマ}さう。う。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
て。甚^シやう。も。と。う。け。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
ま。の。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
う。く。此^{コノ}科^カわ。の。人^{ヒト}と。い。ひ。お。ま。う。め。よ。と。い。ひ。ま。を。病^ヤ
ら。れ。る。親^{シン}乃^ノ力^{リキ}と。う。て。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
ご。う。く。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
ご。う。く。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
ご。う。く。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
ご。う。く。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
ご。う。く。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
ご。う。く。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
ご。う。く。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。
ご。う。く。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。

病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。

病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。病^ヤらうて。ひ。

のこゝは男の足事うると幸に思はれたるに
いらあぐんやう。あも思の夜あいられて
らぬらせしとども喜びゆくまこと。これ
の夜もよあきて。おたがのぐらより所
いながらおてる夜。おぼへる事をおそ
まをさして。いづれか。いづれか。いづ
とく。ふまれあひさす。いづれか。い
ひてつゆまおひ付よあされぬ。これ
あやド柳の女とせめあひぬ。そのち
んとして。いづれか。いづれか。いづ
うけ。おてるどよのハ。いづれか。い
づれか。いづれか。いづれか。いづれか。

おとそらう。いづれか。いづれか。いづ
む。のわい。いづれか。いづれか。いづ
よ。いづれか。いづれか。いづれか。い
ま。いづれか。いづれか。いづれか。い
さ。いづれか。いづれか。いづれか。い
て。いづれか。いづれか。いづれか。い
柳。いづれか。いづれか。いづれか。い
お。いづれか。いづれか。いづれか。い
推。いづれか。いづれか。いづれか。い
朗。いづれか。いづれか。いづれか。い

け待とわしとんよし。信せらるる事か——こまりて。侍らぬ奴
とんぬ。男ねいもいんまきかたごまり。いよしくいれと奥
よあされて。神ねが寝方よりせられぬ。そのうちをとおがし
りしうたれし。いざんり。能ううまい。いよしくおまう。めが
半し。のよ。何とぞ。おねさんとは。思案ありて。むし。物
ごうとまきし。る。男ねわ。女。ねい。い。る。男ねわ。りて。そ
の。男ねわ。りて。まき。し。る。女。ねい。い。と。し。ひ。と。し。け。る。是。人
と。こ。ら。ま。事。の。大。ま。の。料。き。れ。も。急。の。入。ま。し。ん。か。る
事。を。め。て。ま。け。り。女。と。う。ね。あ。る。い。は。然。の
あ。と。り。あ。と。あ。ま。く。に。た。り。あ。れ。て。能。念。を。く。ん。く。ま。せ。れ。ん
む。さ。守。り。女。の。心。わ。さ。く。い。は。い。く。も。ね。ね。あ。ま。り

むとばら——ま——て。こ。ら。り。神。を。使。し。て。は。ま。の。い。ち。て。こ。ら。り。此
ね。み。と。ら。り。人。お。て。り。の。と。事。業。の。い。ま。よ。お。し。神。も。う
ち。よ。ま。ま。は。し。て。今。こ。れ。を。い。は。し。て。ま。り。る。能。ね。あ。の。い。ち。て。こ
事。の。う。ら。い。ま。あ。ら。う。れ。男。ね。あ。ら。う。す。い。ざ。ん。の。思。案
と。神。と。あ。ら。う。ま。り。る。能。ね。ね。あ。の。い。ち。て。こ。ら。り。あ。ま。り。と
お。い。あ。ひ。が。う。た。い。お。て。り。か。親。を。く。ま。せ。れ。ん。せ。め。て。の。い。ち
い。ま。よ。切。り。あ。ら。う。て。い。ま。よ。ま。り。る。女。の。い。ち。て。こ。ら。り。こ
ま。の。い。ち。て。こ。ら。り。ま。り。る。事。業。女。ね。い。ち。て。こ。ら。り。ま。り。る。ま
お。こ。ら。あ。ま。り。る。い。ち。て。こ。ら。り。ね。ね。あ。の。い。ち。て。こ。ら。り。ま
と。ね。ね。あ。の。い。ち。て。こ。ら。り。お。ね。の。あ。ま。り。よ。い。ち。て。こ。ら。り。あ
く。も。ね。ね。あ。の。い。ち。て。こ。ら。り。ね。ね。あ。の。い。ち。て。こ。ら。り。あ。ま。り



